



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月25日

上場取引所 東

上場会社名 イオンクレジットサービス株式会社

コード番号 8570 URL <http://www.aeon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 神谷 和秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 若林 秀樹

TEL 03-5281-2057

四半期報告書提出予定日 平成24年7月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	43,320	8.5	6,181	37.6	6,203	36.6	3,020	—
24年2月期第1四半期	39,936	△1.0	4,493	8.9	4,542	9.0	252	△87.1

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 3,820百万円 (—%) 24年2月期第1四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	20.60	18.82
24年2月期第1四半期	1.61	1.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	944,879	166,763	15.1	987.53
24年2月期	907,658	181,852	17.5	1,012.52

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 142,780百万円 24年2月期 158,816百万円

※純資産の減少は、転換社債型新株予約権付社債発行(平成24年3月23日)の資金を活用した自己株式1,226万9,800株の取得等によるものであります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	15.00	5.00	25.00	45.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	5.3	11,700	14.4	11,700	13.4	5,100	67.3	35.27
通期	181,000	6.6	28,500	17.4	28,500	17.4	12,500	39.1	86.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社では、平成25年2月期より決算期を2月末へ変更することを決定しており、平成25年2月期の業績予想については、決算期変更の影響を織り込んでおります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	144,697,208 株	24年2月期	156,967,008 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	113,732 株	24年2月期	113,690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	146,638,260 株	24年2月期1Q	156,853,512 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後様々な要因によって上記予想と異なる結果になる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、6ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 部門別取扱高内訳	12
(2) 営業債権残高内訳	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[平成25年2月期 第1四半期累計期間の業績概況]

(百万円)

	連結業績	前年同期比	単独業績	前年同期比
取 扱 高	903,511	116.8%	819,729	117.2%
営 業 収 益	43,320	108.5%	27,612	102.2%
営 業 利 益	6,181	137.6%	2,623	128.9%
経 常 利 益	6,203	136.6%	2,687	127.9%
四 半 期 純 利 益	3,020	+2,767	1,574	+2,314

※定性的情報における単独業績に関する情報は、参考として記載しております。

※四半期純利益の前年同期比欄には増加額を記載しております。

当第1四半期連結累計期間(平成24年2月21日～平成24年5月20日)は、東日本大震災後、復興需要等を背景に、景気に持ち直しの動きがみられたものの、欧州の政府債務危機による海外景気の下振れや、為替の変動、株式市場の低迷等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような中、当社ではクレジット事業の強化に加え、電子マネー事業、銀行代理業等のフィービジネスの推進、海外事業の拡大に継続して取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、クレジットカードの有効会員数が期首より34万人純増の2,473万人(海外ハウスカード会員数を含む総会員数3,023万人)に拡大するとともに、国内外において提携先企業との共同企画を積極的に推進した結果、カードショッピング取扱高は7,598億95百万円(前年同期比117.0%)と順調に推移いたしました。

また、フィービジネスでは電子マネー事業、銀行代理業における営業ネットワークの拡大により業容を拡大するとともに、海外事業ではクレジット事業の推進に加え、新たな地域への展開強化に取り組みました。

この結果、取扱高は9,035億11百万円(同116.8%)、営業収益433億20百万円(同108.5%)、営業利益61億81百万円(同137.6%)、経常利益62億3百万円(同136.6%)、四半期純利益は30億20百万円と前年同期に比べ、27億67百万円の増益となりました。

なお、平成24年3月23日に自己株式の取得及びアジア事業への投資強化のため、取得条項付転換社債型新株予約権付社債による資金調達をゼロクーポンにて実施いたしました。

調達資金の内、150億円につきましては、自己株式1,226万9,800株の取得資金に活用し、取得した全株式は4月20日付で消却いたしております。

その結果、当第1四半期のROEは2.0%と取得前と比較して0.1%改善いたしました。

セグメントの概況

[平成25年2月期 第1四半期連結累計期間の事業別セグメント概況 (百万円)]

	営業収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
クレジット	23,851	101.4%	3,510	118.0%
フィービジネス	5,391	136.4%	424	+570
海外事業	14,379	112.7%	3,067	124.3%
合計	43,623	108.4%	7,001	132.2%
セグメント間消去等	△302	—%	△819	—%
連結	43,320	108.5%	6,181	137.6%

※フィービジネス営業利益の前年同期比欄には増加額を記載しております。

①クレジット事業

[主な数値(国内)]

有効会員数 : 2,130万人(期首比29万人増)
稼働会員数 : 1,294万人(期首比26万人増)
カードショッピング取扱高 : 7,349億13百万円(前年同期比117.2%)
カードキャッシング取扱高 : 426億53百万円(前年同期比106.4%)

[主な取り組み]

カード会員数拡大に向けた取り組みでは、提携先企業の店頭や銀行代理店舗での会員募集を強化したことにより、イオンカードにイオン銀行キャッシュカードの機能・特典を付帯した「イオンカードセレクト」の会員数を期首より10万人純増の163万人に拡大することができました。

また、成長領域であるデジタル分野に経営資源を集中させ、インターネット限定の入会企画やスマートフォンを通じた申込受付等、会員募集の強化に取り組みました。この結果、国内の有効会員数は期首より29万人純増の2,130万人と順調に拡大いたしました。

新たなカード特典として、65歳以上のイオンカード会員さまを対象に、毎月15日、グループ店舗でのお買い物が5%割引になる「ゆうゆう感謝デー」の告知強化に加え、ショッピングセンター内の専門店約12,000店舗と共同でカード利用促進企画を実施いたしました。

さらに、カード申込後すぐに利用したいというお客さまのニーズにお応えするため、全国の提携先店舗でのカード即時発行の開始等、利便性向上に取り組んだことにより、稼働会員数は期首より26万人純増の1,294万人に拡大することができました。この結果、カードショッピング取扱高は7,349億13百万円(前年同期比117.2%)と順調に推移いたしました。

なお、カードキャッシング取扱高につきましても、昨年の第4四半期以降、回復基調に転じ、当第1四半期におきましても前年実績を上回り推移しております。

これらの取り組みの結果、クレジット事業の営業収益は238億51百万円(前年同期比101.4%)、営業利益35億10百万円(同118.0%)と増収増益となりました。

②フィービジネス

[主な数値]

WAON発行枚数 : 2,550万枚(期首比140万枚増)
※当社発行枚数 : 741万枚(同41万枚増)
WAON利用可能場所 : 145,000ヶ所(期首比6,000ヶ所増)
イオン銀行代理店舗数 : 71店舗(期首比5店舗増)
※イオン銀行総店舗数 : 85店舗(同5店舗増)

[主な取り組み]

電子マネー事業では、テーマパークやホテル、高速道路サービスエリア等のWAON加盟店開発強化に加え、「ゆうゆうワオン」の会員募集及びWAON一体型カードの発行推進等に取り組んだ結果、WAONの決済総額は2,711億63百万円(前年同期比117.1%)と順調に推移いたしました。

銀行代理業では、お客さまの幅広い金融ニーズにワンストップでお応えするため、クレジット、銀行に加え、証券会社、保険会社等、専門性の高い金融商品・サービスを取り扱う「暮らしのマネープラザ」を新たにイオンモール船橋へ新設いたしました。また、イオン銀行が提供するカードローン及び無担保ローン等の保証拡大により、信用保証残高は順調に拡大いたしました。

国内子会社の取り組みとして、エー・シー・エス債権管理回収株式会社では、公共料金の受託社数及び買取債権の拡大に向けた営業活動強化、イオン少額短期保険株式会社では、家財保険の販売拡大に向けた代理店店舗の開拓に取り組みました。

また、イオン住宅ローンサービス株式会社では、マンション等を販売する住宅販売会社との連携による「フラット35」の取り扱い推進に加え、当社事業所を活用した営業ネットワークの拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

これらの取り組みの結果、フィービジネスの営業収益は53億91百万円(前年同期比136.4%)、営業利益は4億24百万円(同5億70百万円増)と、事業構造の転換を着実に図ることができております。

※なお、当第1四半期連結累計期間より、イオン住宅ローンサービス株式会社の損益計算書を連結しております。

③海外事業

[主な数値]

有効会員数 : 343万人(期首比5万人増)
ハウスカード会員数 : 550万人(期首比13万人増)
合計会員数 : 893万人(期首比18万人増)

[主な取り組み]

香港では、提携先企業の新規出店によるカード会員募集の強化に加え、会社設立25周年企画に取り組む等、カードショッピング取扱高が順調に推移したことにより、営業収益は2億95百万香港ドル(前年同期比103.2%)と増収増益となりました。

タイでは、会社設立20周年に伴い、新たなカード特典強化に取り組むとともに、住宅改装や家具・家電購入等、洪水被害からの復興需要の高まりに合わせた、提携先企業との共同企画に積極的に取り組みました。これらの取り組みの結果、営業収益は30億70百万バーツ(同113.9%)と順調に推移いたしました。

マレーシアでは、提携先企業とのポイント一体型カードの発行拡大に加え、急速に普及が進むスマートフォンやタブレット端末販売加盟店との共同企画に継続して取り組んだことにより、取扱高が順調に拡大いたしました。これらの取り組みの結果、営業収益は1億10百万リングット（前年同期比133.2%）と順調に業容拡大を図ることができました。

また、**台湾、インドネシア、ベトナム**に加え、昨年、現地法人を設立した中国**瀋陽**及び**カンボジア**での加盟店ネットワーク及び営業拠点拡充による取扱高拡大に取り組むとともに、システム開発事業を展開する**フィリピン**においてSE人員増員によるシステム開発受託強化等、各国において継続して業容拡大に取り組みました。

これらの取り組みの結果、営業収益は143億79百万円（前年同期比112.7%）、営業利益30億67百万円（同124.3%）と増収増益を図ることができました。

なお、本年上期中に、中華圏の新規投資対応や各現地法人の事業拡大をサポートする**中国統括会社**を香港に設立し、中国での事業展開をさらに加速させてまいります。

また、タイにおいて、保険代理店事業、サービサー事業を展開するタイ各現地法人をイオンタナシンサップ（タイランド）の傘下に再編してまいります。これにより、同社がクレジットカード事業を通じて培ったノウハウ、機能、営業基盤の活用及び重複する各機能の集約と事業運営の効率化を図り、クレジットカード事業及び周辺事業のさらなる拡大を目指してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、カードショッピング取扱高の順調な拡大により、割賦売掛金が163億12百万円増加した結果、前連結会計年度末と比較して372億20百万円増加し、9,448億79百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、買掛金が324億43百万円、転換社債型新株予約権付社債が300億円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して523億9百万円増加し、7,781億15百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末と比較して150億88百万円減少し、1,667億63百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年4月5日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,250	33,661
割賦売掛金	427,634	443,946
営業貸付金	255,704	258,074
その他	71,230	78,069
貸倒引当金	△42,346	△40,369
流動資産合計	733,474	773,383
固定資産		
有形固定資産	13,853	14,418
無形固定資産	18,144	17,848
投資その他の資産		
投資有価証券	121,417	118,139
その他	20,642	20,913
投資その他の資産合計	142,059	139,052
固定資産合計	174,057	171,320
繰延資産	127	176
資産合計	907,658	944,879
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,117	174,560
短期借入金	34,000	34,002
1年内返済予定の長期借入金	72,542	78,390
1年内償還予定の社債	54,419	34,301
未払法人税等	1,831	2,189
ポイント引当金	10,859	12,369
その他の引当金	1,050	1,735
その他	38,164	41,919
流動負債合計	354,986	379,469
固定負債		
社債	50,095	52,153
転換社債型新株予約権付社債	—	30,000
長期借入金	305,340	303,044
利息返還損失引当金	9,250	7,746
その他の引当金	278	298
その他	5,854	5,403
固定負債合計	370,820	398,646
負債合計	725,806	778,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,466	15,466
資本剰余金	17,046	17,046
利益剰余金	134,582	118,638
自己株式	△188	△145
株主資本合計	166,907	151,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	1,097
繰延ヘッジ損益	△1,562	△1,452
為替換算調整勘定	△7,711	△7,870
その他の包括利益累計額合計	△8,091	△8,226
新株予約権	12	25
少数株主持分	23,023	23,957
純資産合計	181,852	166,763
負債純資産合計	907,658	944,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	16,354	18,830
個別信用購入あっせん収益	2,064	1,863
融資収益	16,456	16,336
業務代行収益	1,722	1,771
償却債権取立益	658	798
その他	2,671	3,702
金融収益	6	17
営業収益合計	39,936	43,320
営業費用		
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	6,145	4,906
ポイント引当金繰入額	2,208	2,588
その他	23,633	26,377
販売費及び一般管理費合計	31,987	33,872
金融費用	3,454	3,266
営業費用合計	35,442	37,139
営業利益	4,493	6,181
営業外収益		
受取配当金	44	46
負ののれん償却額	50	—
その他	11	13
営業外収益合計	106	59
営業外費用		
持分法による投資損失	44	—
為替差損	8	21
自己株式取得費用	—	15
その他	4	0
営業外費用合計	56	38
経常利益	4,542	6,203
特別損失		
災害による損失	3,140	—
その他	214	—
特別損失合計	3,354	—
税金等調整前四半期純利益	1,187	6,203
法人税、住民税及び事業税	2,413	969
法人税等調整額	△2,281	1,092
法人税等合計	131	2,062
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	4,140
少数株主利益	803	1,120
四半期純利益	252	3,020

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	4,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△199	△49
繰延ヘッジ損益	△463	228
為替換算調整勘定	△590	△500
その他の包括利益合計	△1,253	△320
四半期包括利益	△197	3,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△476	2,885
少数株主に係る四半期包括利益	279	934

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

[報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成23年2月21日 至平成23年5月20日）

(単位：百万円)

	クレジット	フィー ビジネス	海外	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
営業収益						
外部顧客への 営業収益	23,513	3,661	12,761	39,936	—	39,936
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	293	—	293	△293	—
計	23,514	3,954	12,761	40,229	△293	39,936
セグメント利益 又は損失(△)	2,975	△146	2,468	5,297	△803	4,493

(注) 各セグメントの内容

- (1) クレジット・・・クレジットカード、ローン等の国内におけるクレジット事業
- (2) フィービジネス・・・電子マネー業務等の国内における各種ビジネス
- (3) 海外・・・国外における金融サービス事業等

当第1四半期連結累計期間（自平成24年2月21日 至平成24年5月20日）

(単位：百万円)

	クレジット	フィー ビジネス	海外	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
営業収益						
外部顧客への 営業収益	23,851	5,102	14,366	43,320	—	43,320
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	289	13	302	△302	—
計	23,851	5,391	14,379	43,623	△302	43,320
セグメント利益	3,510	424	3,067	7,001	△819	6,181

(注) 各セグメントの内容

- (1) クレジット・・・クレジットカード、ローン等の国内におけるクレジット事業
- (2) フィービジネス・・・電子マネー業務等の国内における各種ビジネス
- (3) 海外・・・国外における金融サービス事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別取扱高内訳

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
包括信用購入あっせん	649,667	759,895
個別信用購入あっせん	6,120	8,458
融資	83,397	90,769
業務代行	27,884	35,864
その他	6,601	8,523
合計	773,670	903,511

(2) 営業債権残高内訳

部門別	前連結会計年度末 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成24年5月20日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
包括信用購入あっせん (流動化した債権及び投資有価証券に振 替えた信託受益権含む)	395,628 (520,743)	410,960 (553,718)
個別信用購入あっせん	32,005	32,986
割賦売掛金残高計 (流動化した債権及び投資有価証券に振 替えた信託受益権含む)	427,634 (552,749)	443,946 (586,704)
カードキャッシング (流動化した債権及び投資有価証券に振 替えた信託受益権含む)	143,550 (303,255)	141,696 (294,623)
その他融資 (流動化した債権含む)	112,154 (185,294)	116,377 (187,921)
営業貸付金残高計 (流動化した債権及び投資有価証券に振 替えた信託受益権含む)	255,704 (488,549)	258,074 (482,544)
営業債権残高計 (流動化した債権及び投資有価証券に振 替えた信託受益権含む)	683,339 (1,041,298)	702,021 (1,069,249)